

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会 安足ブロック研修会 実施報告



家庭教育オピニオンリーダーの活動の活性化と充実を目指して実施されている家庭教育オピニオンリーダー連合会安足ブロック研修会が、9月29日(日)に足利市生涯学習センターで開催されました。

研修会では、S-PEC 代表 佐藤さえ子 氏を講師に、講話「性の多様性について・・・誰もが生きやすい社会へ」が行われました。S-PEC(エスペック)とは宇都宮市を中心に活動する LGBT 当事者とその家族、友人のための支援団体です。

佐藤氏は LGBT 当事者の家族として、自身の経験から、LGBT の人たちの現状、それを支える家族としての苦労や感じたことなどを話されました。お子さんが LGBT であることをカミングアウトしたときのことや、親としての思い、佐藤氏がお子さんに対してどのような声をかけ、それに対してお子さんがどのように反応していったのかといったことを話されました。



参加者は真剣に佐藤氏の話に耳を傾けていました。今でこそ LGBT やトランスジェンダーといった言葉はよく耳にするようになりましたが、佐藤氏の話を通して、その実態を理解し、人権として「知る」ということの必要性を感じられたのではないのでしょうか。

また、人権的な理解だけでなく、お子さんが成長していく過程で、身近なところで日常的に支えてくれる人たちのありがたさやあたたかさを感じることができました。遠方の寮に通っていたとき、親元を離れて苦しかった現状をその学校の人たちや地域の人たちに支えてもらった経験なども話されました。苦しい思いをしている人たちを支える上で、家庭教育支援や地域の人間としてできることがたくさんあることにも気付かされる内容でした。

その後の交流会では、グループごとに佐藤氏の講話についての感想を共有しました。参加者の方の中には、習字教室の先生など、子どもと直接関わっている方もいらっしゃいました。各グループでは LGBT の話だけに留まらず、不登校など最近の子どもたちに関わる話題や、どのように支援していくか、どのように声をかけていくかといった話題が多く出ていました。

最後は、各グループからどのような話題が出てきたのかを代表者が発表し、共有する時間がありました。発表の中から、子どもたちによりよく人生を生きてほしいという思いが伝わり、今後の安足ブロックの皆さんと家庭教育オピニオンリーダー受講者の意欲の向上につながったのではないかと感じました。これからの安足ブロック家庭教育支援の皆様のご活躍を心より期待しております。



安足ブロックの皆様、大変お世話になりました！